

厚生労働大臣 殿

管理者名 防衛医科大学校病院長
望月 英

防衛医科大学校病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成18年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 様式第10のとおり
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 様式第11のとおり
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	93人
--------	-----

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 様式第12のとおり
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 様式第13のとおり
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	155人	55人	158.2人	看護業務補助	38人	診療エックス線技師	人
歯科医師	5人	3人	5.1人	理学療法士	4人	臨床検査技師	31人
薬剤師	19人	人	19.0人	作業療法士	1人	臨床検査衛生検査技師	人
保健師	人	人	人	視能訓練士	2人	その他	人
助産師	人	人	人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	人
看護師	387人	11人	395.3人	臨床工学技士	4人	医療社会事業従事者	2人
准看護師	人	人	人	栄養士	人	その他の技術員	人
歯科衛生士	1人	人	1.0人	歯科技工士	2人	事務一務職員	37人
管理栄養士	5人	人	5.0人	診療放射線技師	21人	その他の職員	15人

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	572.8人	11.7人	584.5人
1日当たり平均外来患者数	1,316.7人	46.2人	1,362.9人
1日当たり平均調剤数			711剤

高度の医療の提供の実績

1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・顔面骨又は頭蓋骨の観血的移動術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・溶血性貧血症の病因解析及び遺伝子解析診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・人工中耳	有・ <input type="radio"/> 無	人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	有・ <input type="radio"/> 無	人
・性腺機能不全の早期診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・経皮的レーザー椎間板切除術(内視鏡下を含む)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・ <input type="radio"/> 無	人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	有・ <input type="radio"/> 無	人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・SDI法による抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・栄養障害型表皮水疱症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・不整脈疾患における遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下肝切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・画像支援ナビゲーション手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・成長障害のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・生体部分肺移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・骨髄細胞移植による血管新生療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・ミトコンドリア病のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	55人
・鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・ <input type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・神経変性疾患のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・固形がんに対する重粒子線治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・カフェイン併用化学療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・遺伝性コプロポルフィン症のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・固形腫瘍(神経芽腫)のRNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・脾腫瘍に対する腹腔鏡補助下脾切除術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・エキシマレーザー冠動脈形成術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・抗がん剤感受性試験(CD-DST法)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術(CT透視下法)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・活性化血小板の検出	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・末梢血幹細胞(CD34陽性細胞に限る。)による血管再生治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・自己腫瘍(組織)を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・自己腫瘍(組織)及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類(歯科)	承認	取扱い患者数
・インプラント義歯	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎顔面補綴	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎関節症の補綴学的治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・歯周組織再生誘導法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・エックス線透視下非観血的唾石摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・レーザー応用による齲蝕除去・スケーリングの無痛療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・耳鼻いんこう科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術(PPH)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
強度変調放射線治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
インプラント義歯	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
顎顔面補綴	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
人工中耳	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
歯周組織再生誘導法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
抗がん剤感受性試験	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝切除術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
生体部分肺移植術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
活性化血小板の検出	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
超音波骨折治療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
眼底三次元画像解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
X線CT診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

(注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

3 先進医療で上の表に掲げているものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱い患者数	疾 患 名	取扱い患者数
・ベーチェット病	50 人	・モヤモヤ病 (ウィリス動脈輪閉塞症)	5 人
・多発性硬化症	10 人	・ウェグナー肉芽腫症	6 人
・重症筋無力症	36 人	・特発性拡張型 (うっ血型) 心筋症	人
・全身性エリテマトーデス	71 人	・多系統萎縮症	3 人
・スモン	2 人	・表皮水疱症 (接合部型及び栄養障害型)	6 人
・再生不良性貧血	20 人	・膿疱性乾癬	1 人
・サルコイドーシス	29 人	・広範脊柱管狭窄症	28 人
・筋萎縮性側索硬化症	6 人	・原発性胆汁性肝硬変	30 人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	32 人	・重症急性膵炎	7 人
・特発性血小板減少性紫斑病	35 人	・特発性大腿骨頭壊死症	1 人
・結節性動脈周囲炎	人	・混合性結合組織病	17 人
・潰瘍性大腸炎	91 人	・原発性免疫不全症候群	人
・大動脈炎症候群	2 人	・特発性間質性肺炎	2 人
・ピュルガール病	5 人	・網膜色素変性症	18 人
・天疱瘡	10 人	・プリオン病	人
・脊髄小脳変性症	17 人	・原発性肺高血圧症	3 人
・クローン病	17 人	・神経繊維腫症	3 人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	4 人	・亜急性硬化性全脳炎	人
・悪性関節リウマチ	4 人	・バッド・キアリ (Budd-Chiari) 症候群	1 人
・パーキンソン病	81 人	・特発性慢性肺血栓塞栓症 (肺高血圧型)	人
・アミロイドーシス	11 人	・ライガーム病 (ファブリ「Fabry」病含む)	1 人
・後縦靭帯骨化症	人	・副腎白質ジストロフィー	人
・ハンチントン病	人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1週間に4回程度	
剖 検 の 状 況	剖検症例数 43例	剖検率 14.0%

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

(単位:千円)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ナノキャリアと物理エネルギーを融合したハイブリッド標的化診断・治療の研究開発	守本 祐司	分子生体制御学	8,758	補委 特別研究費
トランスポーターの機能・局在解析と中枢神経疾患の分子標的治療への応用に関する研究	小林 靖	解剖学	7,739	補委 特別研究費
出血性ショックの迅速診断及び治療	高瀬 凡平	防衛医学研究センター	9,644	補委 特別研究費
腫瘍における小胞体ストレス応答の解明と診断・治療の研究開発	仲西 邦昭	臨床検査医学	11,302	補委 特別研究費
涙腺機能の再建に関する研究	伊藤 正孝	再生発生学	10,259	補委 特別研究費
神経再生～細胞膜“脂質ラフト”の役割の解明と逆行性神経情報伝達を利用した治療応用～	鎌倉 恵子	内科学第三	11,436	補委 特別研究費
DNA切断・修復機能異常による疾患の責任遺伝子同定と機能解析及び診断・治療への応用	野々山 恵章	小児科学	11,386	補委 特別研究費
フォトニック分子治療学に基づく重傷外傷の新規治療戦略の検討	佐藤 俊一	防衛医学研究センター	11,662	補委 特別研究費
Neurovascular microunit機構の解明とこれに基づく分子生体制御に関する研究	西田 育弘	生理学	12,818	補委 特別研究費
合計			95,004	

計 9

(注) 特別研究費とは、学術振興に寄与するため優れた学術研究を格段に発展させることを目的として設定されている。文部科学省の科学研究費に相当するものである。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
別添のとおり			

計155

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Atherosclerosis. 2006	Effect of bezafibrate therapy on atherosclerotic aortic plaques detected by MRI in dyslipidemic patients with hypertriglyceridemia.	Ayaori Makoto	内科1
Arteriosclerosis, Thrombosis, and Vascular Biology 2006. 26(8): e129-30.	Effect of atorvastatin on plasma osteopontin levels in patients with hypercholesterolemia.	Tanaka Nobukiyo	内科1
Atherosclerosis. 2006;187(1):215-7	Association between osteoprotegerin gene polymorphism and coronary artery disease in Japanese men.	Ohmori Reiko	内科1
Atherosclerosis. 2006;187(1):213-4.	LDL fractions assessed by anion-exchange high-performance liquid chromatography in patients with coronary artery disease.	Ohmori Reiko	内科1
American Journal of Physiology. Heart and Circulatory Physiology. 2006;291(1):H176-83.	Left ventricular hypertrophy in mice with a cardiac-specific overexpression of interleukin-1.	Nishikawa Kenichiro	内科1

小計5

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Nephrology 19(5):656-659, 2006	A case of essential thrombocytosis developing nephrotic syndrome and severe endothelial damage.	Takamitsu Saigusa, Yuichi Kikuchi, Muneharu Yamada, Toshihiko Imakiire, Toshitake Hyodo, Shigenobu Suzuki, Soichiro Miura	内科2
Digestive Diseases and Sciences 51(11):1952-1955, 2006	Endoscopically removed hepatolithiasis associated with cavernous transformation of the portal vein and antiphospholipid antibody syndrome.	Keisuke Okudaira, Atsushi Kawaguchi, Takuya Inoue, Kazutoshi Hashiguchi, Yoshikazu Tsuzuki, Shigeaki Nagao, Kazuro Itoh, Soichiro Miura	内科2
American Journal of Gastroenterology 102(2):302-312, 2007	Expression of PD-1, PD-L1, and PD-L2 in the liver in autoimmune liver diseases.	Norikazu Mataka, Kentaro Kikuchi, Toshihiko Kawai, Masaaki Higashiyama, Yoshikiyo Okada, Kurihara Chie, Ryota Hokari, Atsushi Kawaguchi, Shigeaki Nagao, Toshiro Kondo, Kazuro Itoh, Hiroshi Miyakawa, Soichiro Miura.	内科2
Nephrology Dialysis and Transplantation 22 (3):740-748, 2007	Significance of glomerular cell apoptosis in the resolution of acute post-streptococcal glomerulonephritis.	Takashi Oda, Nobuyuki Yoshizawa, Kazuo Yamakami, Aki Ishida, Osamu Hotta, Shigenobu Suzuki, Soichiro Miura.	内科2
Journal of Endocrinology 192 (3): 595-603, 2007	A Rho-kinase inhibitor, fasudil, prevents development of diabetes and nephropathy in insulin-resistant diabetic rats.	Yuichi Kikuchi, Muneharu Yamada, Toshihiko Imakiire, Taketoshi Kushiyama, Keishi Higashi, Naomi Hyodo, Kojiro Yamamoto, Takashi Oda, Shigenobu Suzuki, Soichiro Miura.	内科2

小計 5

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Neurol. Neurosurg. Psychiat.2006 77:1043-1046	Anti-ganglioside complex antibodies in Miller Fisher syndrome.J	Kaida K, Kanzaki M, Morita D, Kamakura K, Motoyoshi K, Hirakawa M, Kusunoki S.	内科3
Disinhibition of somatosensory evoked potential recovery in alcoholics.	Disinhibition of somatosensory evoked potential recovery in alcoholics.	Mochizuki Hitoshi, Masaki T, Matsushita S, Kamakura K, Motoyoshi K, Higuchi S	内科3
J Neuroimmunology 2007 182: 212-218	Anti-ganglioside complex antibodies associated with severe disability in GBS.	Kaida K, Morita D, Kanzaki M., Kamakura K., Motoyoshi K, Hirakawa M., Kusunoki S	内科3
Br J Haematol. 2006 Aug;134(4):406-16	The human cathepsin H gene encodes two novel minor histocompatibility antigen epitopes restricted by HLA-A*3101 and -A*3303.	Torikai H, Akatsuka Y, Miyazaki M, Tsujimura A, Yatabe Y, Kawase T, Nakao Y, Tsujimura K, Motoyoshi K, Morishima Y, Kodera Y, Kuzushima K, Takahashi T.	内科3
Radioisotopes 56(2):65-76, 2007	Cost-Effectiveness Analysis of antithyroid drug therapy, 131I therapy and subtotal thyroidectomy for Graves' disease	Watanabe S, Kosuda S, Yano F, Abe K, Kusano S, Tanaka Y.	内科3
Endocr J. 54(2):255-264, 2007	Gonophylline and Betacellulin-delta4: an Effective Combination of Differentiation Factors for Pancreatic beta Cells.	Kitamura RI, Ogata T, Tanaka Y, Motoyoshi K, Seno M, Takei I, Umezawa K, Kojima I.	内科3
防衛医科大学校雑誌 31(2):71-79, 2006	自験10例分析に基づく低Na血症の新しい病型分類と治療法プロトコール～一次病態把握と治療的診断の重要性～	日向崇・田中 祐司・吉田敦行・小倉絵理子・小寺力・井原善明・山本頼綱・北村竜一・元吉和夫	内科3
糖尿病49(6):429-434, 2006	オクトレオチド投与により高血糖をきたし、少量に減少し病態の改善をみたインスリンノーマの1例	小寺力・戸澤美智子・吉田敦行・高祖裕司・吉田理恵・元吉和夫・田中祐司	内科3
防衛医科大学校雑誌 in press, 2007	全身MRI・全身静脈FGF-23測定が確定診断に極めて有用だった腫瘍性骨軟化症(TIO)の1例	高祖裕司、小寺力、津田悦史、中道憲明、加地辰美、小須田茂、根本孝一、福本誠二、元吉和夫、田中祐司	内科3

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
International Journal of Cancer 118(2): p.388-395, 2006	Exploitation of interleukin-18 by gastric cancers for their growth and evasion of host immunity	Majima Takashi, Ichikura Takashi, et al.	外科1
Critical Care Medicine 34(1): p.182-187, 2006	Gut ischemia-reperfusion affects gut mucosal immunity: A possible mechanism for infectious complications after severe surgical insults.	Fukatsu Kazuhiko, Mochizuki Hidetaka, et al.	外科1
Clinical and Experimental Immunology 143(1): p.41-49, 2006	Multiple interleukin-18 injections promote both mouse Th1 and Th2 responses after sublethal Escherichia coli infection	Kinoshita Manabu, Ono Satoshi, et al.	外科1
FEBS Letters 580(1): p.184-190, 2006	Transformation-associated gene regulation by ATF6 α during hepatocarcinogenesis	Masaaki Arai, Kazuo Hatsuse, et al.	外科1
Surgery 139(4): p.516-522, 2006	Distribution of lymph node metastasis is a prognostic index in patients with stage III colon cancer	Kobayashi Hirotohi, Mochizuki Hidetaka, et al.	外科1
Annals of Surgery 243(4): p.492-498, 2006	Extent of Mesorectal Tumor Invasion as a Prognostic Factor After Curative Surgery for T3 Rectal Cancer Patients	Miyoshi Masayoshi, Ueno Hideki, et al.	外科1
Surgery 139(4): p.501-507, 2006	Individualized surgery for early gastric cancer guided by sentinel node biopsy	Ichikura Takashi, et al.	外科1
Clinical Immunology 119(2): p.180-187, 2006	Differential toll-like receptor expression after ex vivo lipopolysaccharide exposure in patients with sepsis and following surgical stress	Tsujimoto Hironori, Ono Satoshi, et al.	外科1
Modern Pathology 19: p.788-796, 2006	Potential crosstalk between insulin-like growth factor receptor type 1 and epidermal growth factor receptor in progression and metastasis of pancreatic cancer	Ueda Shigeto, Hatsuse Kazuo, et al.	外科1
Cancer Science 97(7): p.597-604, 2006	Alternative tyrosine phosphorylation of signaling kinases according to hormone receptor status in breast cancer overexpressing the insulin-like growth factor receptor type 1	Ueda Shigeto, Mochizuki Hidetaka, et al.	外科1
Journal of Hepatology 45(2): p.290-298, 2006	Cooperative IFN- γ production of mouse liver B cells and natural killer cells stimulated with lipopolysaccharide	Matsumoto Atsushi, Ono Satoshi, et al.	外科1
Diseases of the Colon & Rectum 49(8): p.1193-1202, 2006	Tumor buds show reduced expression of Laminin-5 Gamma 2 chain in DNA mismatch repair deficient colorectal cancer	Shinto Eiji, Mochizuki Hidetaka, et al.	外科1
Journal of Hepatology 45: p.836-843, 2006	A critical role of CpG motifs in a murine peritonitis model by their binding to highly expressed toll-like receptor-9 on liver NKT cells	Tsujimoto Hironori, Ono Satoshi, et al.	外科1

Journal of Parenteral and Enteral Nutrition 30(5): p.380-387, 2006	Albumin infusion after reperfusion prevents gut ischemia-reperfusion-induced gut-associated lymphoid tissue atrophy	Ikezawa Fumie, Maeshima Yoshinori, et al.	外科1
Diseases of the Colon & Rectum 49(9): p.1422-1430, 2006	Differential prognostic significance of morphologic invasive markers in colorectal cancer: tumor budding and cytoplasmic podia	Shinto Eiji, Mochizuki Hidetaka, et al.	外科1
Journal of Parenteral and Enteral Nutrition 30(5): p.395-399, 2006	Influences of Long-Term Antibiotic Administration on Peyer's Patch Lymphocytes and Mucosal Immunoglobulin A Levels in a Mouse Model	Yaguchi Yoshihisa, Mochizuki Hidetaka, et al.	外科1
Journal of Parenteral and Enteral Nutrition 30(5): p.388-394, 2006	Interleukin-7 dose-dependently restores parenteral nutrition-induced gut-associated lymphoid tissue cell loss but does not improve intestinal immunoglobulin A levels	Fukatsu Kazuhiko, Mochizuki Hidetaka, et al.	外科1
Diseases of the Colon & Rectum 49(11): p.1663-1672, 2006	Indication and Benefit of Pelvic Sidewall Dissection for Rectal Cancer	Sugihara Kenichi, Kobayashi Hirotoishi, Mochizuki Hidetaka, et al.	外科1
Japanese Journal of Clinical Oncology; p.1-6, 2006	Preoperative chemoradiotherapy for esophageal cancer enhances the postoperative systemic inflammatory response	Tsujimoto Hironori, Ono Satoshi, et al.	外科1
The Journal of Immunology 177(7): p.4627-4635, 2006	Restoration of Natural IgM Production from Liver B Cells by Exogenous IL-18 Improves the Survival of Burn-Injured Mice Infected with Pseudomonas aeruginosa	Kinoshita Manabu, Ono Satoshi, et al.	外科1
American Journal of Clinical Pathology 127: p.287-294, 2007	Extramural Cancer Deposits Without Nodal Structure in Colorectal Cancer. Optimal Categorization for Prognostic Staging	Ueno Hideki, Mochizuki Hidetaka, et al.	外科1
Annals of Surgery 245(1): p.80-87, 2007	Potential Prognostic Benefit of Lateral Pelvic Node Dissection for Rectal Cancer Located Below the Peritoneal Reflection	Ueno Hideki, Mochizuki Hidetaka, et al.	外科1
Surgery 141(1): p.67-75, 2007	Characteristics of recurrence and surveillance tools after curative resection for colorectal cancer: A multicenter study	Kobayashi Hirotoishi, Mochizuki Hidetaka,	外科1
SHOCK 27(3): p.320-325, 2007	Lack of enteral nutrition blunts extracellular-regulated kinase phosphorylation in gut-associated lymphoid tissue	Maeshima Yoshinori, Mochizuki Hidetaka, et al.	外科1

小計 //

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Natl Def Med Coll 31(1) : 14-20, 2006	Percutaneous tracheostomy with guide wire dilating forceps (Grigg's method): what we learned from our first 12 cases.	Susumu Isoda, Osamu Yamaguchi, Taniguchi Hideaki, Hayami Hajime, Kamiya noriyuki, Kamimukai Nobuyuki, Tadaaki Maehara	外科2
J Natl Def Med Coll 31(1) : 21-26, 2006	Entry closure of aortic dissection using ATP-induced cardiac asystole under cardiac pacing back-up.	Susumu Isoda, Kiyotaka Imoto, Tadaaki Maehara	外科2

小計 2

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Exp Med.	A primary immunodeficiency characterized by defective immunoglobulin class switch recombination and impaired DNA repair.	Péron S, Pan-Hammarström Q, Imai K, Du L, Taubenheim N, Sanal O, Marodi L, Bergelin-Besançon A, Benkerrou M, de Villartay JP, Fischer A, Revy P, Durandy A.	小児科
Am J Med Genet	dup(8p)/del(8q) recombinant chromosome in a girl with hepatic focal nodular hyperplasia.	Tokutomi T, Hayashi S, Imai K, Chida A, Ishiwata T, Asano Y, Inazawa J, Nonoyama S	小児科
Pediatr Infect Dis J.	Diagnosis of congenital cytomegalovirus infection using a traditionally preserved umbilical cord.	Matsumoto H, Suzuki S, Kobayashi O, Tamura K, Nonoyama S, Miyagawa H.	小児科
EMBO Rep.	Wiskott-Aldrich syndrome protein is involved in alphaIIb beta3-mediated cell adhesion.	Tsuboi S, Nonoyama S, Ochs HD.	小児科
Am J Med Genet A.	A non-obese boy with Prader-Willi syndrome shows cardiopulmonary impairment due to severe kyphoscoliosis.	Tokutomi T, Chida A, Asano Y, Ishiwata T, Koike Y, Motegi A, Asazuma T, Nonoyama	小児科
Br J Haematol.	Outcome in patients with Wiskott-Aldrich syndrome following stem cell transplantation: an analysis of 57 patients in Japan.	Kobayashi R, Ariga T, Nonoyama S, Kanegane H, Tsuchiya S, Morio T, Yabe H, Nagatoshi Y,	小児科
J Med Virol.	Bone marrow transplantation from a pediatric donor with a high frequency of cytomegalovirus-specific T-cells.	Komatsu H, Kogawa K, Nonoyama S, Inui A, Sogo T, Fujisawa T, Klenerman P.	小児科
Scand J Infect Dis.	A case of HHV-6 associated acute necrotizing encephalopathy with increase of CD56bright NKcells.	Kubo T, Sato K, Kobayashi D, Motegi A, Kobayashi O, Takeshita S, Nonoyama S.	小児科
Immun Ageing.	Large scale analysis of pediatric antiviral CD8+ T cell populations reveals sustained, functional and mature responses.	Komatsu H, Inui A, Sogo T, Fujisawa T, Nagasaka H, Nonoyama S, Sierro S, Northfield J, Lucas M, Vargas A, Klenerman P.	小児科
Biochim Biophys Acta.	Female hyper IgM syndrome type 1 with a chromosomal translocation disrupting CD40LG.	Imai K, Shimadzu M, Kubota T, Morio T, Matsunaga T, Park YD, Yoshioka A, Nonoyama	小児科

小計 10

J Leukoc Biol.	An in vitro Shwartzman reaction-like response is augmented age-dependently in human peripheral blood mononuclear cells.	Motegi A, Kinoshita M, Sato K, Shinomiya N, Ono S, Nonoyama S, Hiraide H, Seki S.	小児科
Bone Marrow Transplant.	Hematopoietic stem cell transplantation for 30 patients with primary immunodeficiency diseases: 20 years experience of a single team.	Tsuji Y, Imai K, Kajiwara M, Aoki Y, Isoda T, Tomizawa D, Imai M, Ito S, Maeda H, Minegishi Y, Ohkawa H, Yata J, Sasaki N, Kogawa K, Nagasawa M, Morio T, Nonoyama S, Mizutani S.	小児科

小計 2

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
別冊整形外科 49: p.40-48	Hemagglutinating virus of Japan(HVJ)-リボソーム法による非ウイルス性逆行性神経内遺伝子導入法と圧挫神経損傷に対する新たな治療戦略	加藤直樹, 根本孝一, 有野浩司, 中西邦昭	整形外科
別冊整形外科 49: p.145-149	末梢神経の画像診断	有野浩司, 根本孝一	整形外科
関節外科 25(7): p.699-705	タナ障害の診断と鏡視下手術	小林龍生, 金子大毅	整形外科
リウマチ科 35(6): p.517-524	関節疾患とマトリックスメタプロテアーゼ(MMP)	吉原愛雄, 岡田保典*	整形外科
末梢神経 17(1): p.67-73	絞扼性神経障害のMR neurography	有野浩司, 根本孝一	整形外科
末梢神経 17(1): p.33-43	末梢神経損傷・障害に対する肝細胞増殖因子を用いた遺伝子治療:臨床応用に適した遺伝子治療をめざして	加藤直樹, 根本孝一, 有野浩司, 中西邦昭	整形外科
J Spinal Disord Tech 19(5): p.318-322	Postoperative Change of the Cross-Sectional Area of Back Musculature After 5 Surgical Procedures as Assessed by Magnetic Resonance Imaging	Motosuneya Takao, Asazuma Takashi, Tsuji Takashi, Watanabe Hironobu, Nakayama Yoshikazu,	整形外科
Journal of Orthopaedic Research 24: p.1521-1534	Upregulated Expression of Inducible Nitric Oxide Synthase Plays a Key Role in Early Apoptosis after Anterior Cruciate Ligament Injury	Murakami Hideaki, Shinomiya Nariyoshi, Kikuchi Toshiyuki, Yoshihara Yasuo, Nemoto	整形外科
リウマチ科 35(6): p.571-577	アグリカン由来マーカー	山田治基*, 金治有彦*, 加藤慎一*, 杉本春夫*, 市瀬彦聡*, 伊達秀樹*, 吉原愛雄, 小林龍生, 森田充浩*	整形外科
リウマチ科 35(6): p.525-531	コンドロカルシン	小林龍生, 山田治基*, 堀田拓*, 吉原愛雄	整形外科
整形外科 57(8): p.945-949	肘関節 関節鏡視下滑膜切除術	有野浩司, 根本孝一	整形外科
整形・災害外科 49(10): p.1063-1072	減負荷による関節軟骨変性と再負荷による回復	富谷真人*, 富士川恭輔, 菊地寿幸, 吉原愛雄, 根本孝一	整形外科
別冊整形外科 50: p.79-83	頸椎症性脊髄症に対する選択的椎弓形成術-局所除圧術の根拠	辻崇, 朝妻孝仁, 増岡一典, 安岡宏樹, 酒井翼, 根本孝一	整形外科
Journal of Long-Term Effects of Medical Implants 16(1): p.41-49	Anterior Cruciate Reconstruction with Bioactive Leeds-Keio Ligament (LKII): Preliminary Report	Sugihara Atsushi, Fujikawa Kyosuke*, Watanabe Hironobu*, Murakami Hideaki, Kikuchi	整形外科
Journal of Biomedical Materials Research B79(1): p.25-34	Tissue Engineering of Articular Cartilage With Autologous Cultured Adipose Tissue-Derived Stromal Cells Using Atelocollagen Honeycomb-Shaped	Masuoka Kazunori, Asazuma Takashi, Hattori Hidemi, Yoshihara Yasuo, Sato Masato*, Matsumura	整形外科

小計 15

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本マイクロサージャリー学会誌	2歳児の末節完全切断再接着の1経験 -医療用ヒルの使用と輸血に関する考察-	山本直人, 南部正樹, 東隆一, 清澤智晴	形成外科
British Journal of Dermatology	Squamous cell carcinoma arising on scars of epidermolysis bullosa acquisita	Kiyosawa T	形成外科
皮膚科の臨床	二重瞼用接着剤による上眼瞼皮膚炎(いわゆるアイプチ皮膚炎)の1例-治療法の選択肢としての重瞼術について-	清澤智晴	形成外科
日本気管食道科学会会報	気管擦過によるウサギ気道狭窄モデル	東隆一	形成外科
日本マイクロサージャリー学会誌	第2趾完全切断再接着の1例	東隆一	形成外科
Skin Surgery	皮下皮様嚢腫様臨床像を呈した頭部アポクリン汗嚢腫の1例	東隆一	形成外科
日本形成外科学会誌	連続切除術の部分切除にZ-plastyを応用する術式(Z-plasty Accompanied with Serial Excision : ZASE)の幾何学的検証	東隆一	形成外科
Annals of Plastic Surgery	Dermal neoformation during partial-thickness skin wound healing	Naoto Yamamoto	形成外科
第11回 ケロイド・肥厚性瘢痕研究会記録集	脂肪組織由来幹細胞を播種した培養真皮による難治性潰瘍の治療	南部正樹	形成外科
皮膚臨床	タクロリムス外用剤使用中の食道癌患者にみられた顔面白癩の1例	東隆一	形成外科

小計 10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Clinical Neuroscience	Enhanced hippocampal neurodegeneration after traumatic or kainite excitotoxicity in GFAP-null mice.	Otani N.	脳神経外科
Journal of Clinical Neuroscience	Non-bifurcating cervical carotid artery.	Ooigawa H.	脳神経外科
Acta Neuropathologica	The fate of Nissl-stained dark neurons following traumatic brain injury in rats: difference between neocortex and hippocampus regarding survival rate.	Ooigawa H.	脳神経外科
Acta Neurochirurgia	Alteration of gap junction proteins (connexins) following lateral fluid percussion injury in rats.	Oshumi A.	脳神経外科
International Journal of Cancer	L-type amino acid transporter 1 as a potential molecular target in human astrocytic tumors.	Nawashiro H.	脳神経外科
Neurosurgical Emergency	子癩および重症妊娠高血圧腎症患者におけるMR画像所見についての検討	都築伸介	脳神経外科
神経研究の進歩	減圧開頭術の適性	島克司	脳神経外科
日本薬理学会誌	脳梗塞急性期治療薬一現状と今後の展望	島克司	脳神経外科
防衛医科大学校雑誌	特発性低髄液圧症候群 (spontaneous intracranial hypotension: SIH) の一例群	長谷公洋	脳神経外科
防衛医科大学校雑誌	慢性硬膜下血腫術後硬膜下膿瘍の1例—MRI 拡散強調画像の有用性について	松本佳久	脳神経外科
Journal of Neurosurgery	Cystic intracranial plasma cell granuloma.	Nawashiro H.	脳神経外科
Brain Edema XIII	Alteration of gap junction (connexins) following lateral fluid percussion injury in rats.	Oshumi A.	脳神経外科

小計 12

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clinical and Experimental Dermatology 31(4)	Papular tuberculides post-BCG vaccination: Case report and review of the literature in Japan	武藤潤,	皮膚科
皮膚科の臨床 48(9)	2型糖尿病患者に生じたヒトインスリンに対する即時型アレルギーの1例	武藤潤,	皮膚科
臨床皮膚科 60(11)	尋常性乾癬に合併した自己免疫性表皮下水疱症の1例	浅野千賀	皮膚科
臨床皮膚科 60(12)	組織学的に血管炎を伴ったlymphomatoid papulosisの小児例	浅野千賀	皮膚科
皮膚科の臨床 48(12)	直腸癌を併発したAmyopathic Dermatomyositisの1例	浅野千賀	皮膚科
Skin Research	Efficacy and safety of maxacalcitol(Oxarol)ointment for the treatment of acquired palmoplantar keratoderma	黒田 啓	皮膚科

小計 6

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
The Prostate 67: p.41-49, 2006	Angiotensin II Type I Receptor Antagonist as an Anigiogenic Inhibitor in Prostate Cancer	Takeo Kosaka	泌尿器科
The Journal of Urology 176: p.1631-1635, 2006	Increased serum leptin levels and over expression of leptin receptors are associated with the invasion and progression of renal cell carcinoma	Akio Horiguchi	泌尿器科
The Journal of Urology 176: p.1636-1641, 2006	Leptin promotes invasiveness of murine renal cancer cells via extracellular signal-regulated kinases and rho dependent pathway	Akio Horiguchi	泌尿器科
Int. J Urol. 13(11): p.1365-1370, 2006	IMPACT OF THROMBOCYTOSIS AND C-REACTIVE PROTEIN ELEVATION ON THE PROGNOSIS FOR PATIENTS WITH RENAL CELL CARCINOMA	Keiichi Ito	泌尿器科
International Journal of Oncology 30: p.695-700, 2007	Synergistic effect of survivin-specific small interfering RNA and topotecan in renal cancer cells: Topotecan enhances liposome-mediated transfection by increasing cellular uptake	Akinori Satoh	泌尿器科
Jpn J Endourol ESWL 20(1): p.12-17, 2007	ラジオ波焼灼術を用いた小径腎癌に対する低侵襲治療	浅野友彦	泌尿器科
Scand J Immunol 65(2): p.126-138, 2007	Induction of CD16+ CD56bright NK cells with antitumour cytotoxicity not only from CD16- CD56bright NK Cells but also from CD16- CD56dim NK cells	Eiji Takahashi	泌尿器科
Human Gene Therapy 17(10): p.994-1005, 2007	Targeting Gene Therapy for Prostatic Cancer Cells by Liposomes Complexed with Anti-Prostate-Specific Membrane Antigen Monoclonal Antibody	Shusei Ikegami	泌尿器科

小計 8

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Medicinal Chemistry 2006; 2(3): 223-226	Inhibitory effects of bisphosphonates on the proliferation of human ovarian cancer cell lines and the mechanism	Junko Hirata, Yoshihiro Kikuchi, Kazuya Kudoh, Tsunekazu Kita, Hiroshi Seto	産科婦人科
Molecular Endocrinology 2006 Oct;20(10);2444-2455	Differential Expression of FOXO1 and FOXO3a Confers Resistance to Oxidative Cell Death upon Endometrial Decidualization	Kajihara T, Jones M, Fusi L, Takano M, Feroze-Zaidi F, Pirianov G, Mehmet H, Ishihara O, Higham JM, Lam EW, Brosens JJ	産科婦人科
Surg Radiol Anat. 2006;1:133-138.	Human pelvic extramural ganglion cells: a semiquantitative and immunohistochemical study.	Imai K, Furuya K, Kawada M, Kinugasa Y, Omote K, Namiki A, Uchiyama E, Murakami G.	産科婦人科
J.Obstet Gynaecol Res. 2006 (in press)	Effect of HER-2/neu overexpression on chemoresistance and prognosis in ovarian carcinoma	Naoki Sasaki, Kazuya Kudoh, Tsunekazu Kita, Hitoshi Tsuda, Kenichi Furuya and Yoshihiro Kikuchi.	産科婦人科
Oncology Reports 2006;16(6): 1301-1306	Adjuvant chemotherapy with irinotecan hydrochloride and cisplatin for clear cell carcinoma of the ovary.	M. Takano, Y. Kikuchi, N. Yaegashi, M. Suzuki, H. Tsuda, S. Sagae, Y. Udagawa, K. Kuzuya, J. Kigawa, H. Tsuda, T. Moriya and T. Sugiyama	産科婦人科
Targ Oncol 2006;1:86-89	Effect of paclitaxel on vascular endothelial growth factor(VEGF) and interleukin (IL)-8 in serum of patients with recurrent ovarian cancer: a comparison of weekly vs triweekly	Keiko Saito, Yoshihiro Kikuchi, Kazuyuki Fujii, Tsunekazu Kita, Kenichi Furuya	産科婦人科
Int J Clin Oncol 2007 12:256-260	Progression-free survival and overall survival of patients with clear cell carcinoma of the ovary treated with paclitaxel-carboplatin or irinotecan-cisplatin: retrospective analysis	Masashi Takano, Toru Sugiyama, Nobuo Yaegashi, Mitsuaki Suzuki, Hiroshi Tsuda, Satoru Sagae, Yasuhiro Udagawa, Kazuo Kuzuya, Junzo Kigawa, Satoshi Takeuchi, Hitoshi Tsuda, Takuya Moriya, Yoshihiro Kikuchi	産科婦人科
Obstet. Gynaecol. res. February 2007;33(1): 17-23	Effect of HER-2/neu overexpression on chemoresistance and prognosis in ovarian carcinoma	Naoki Sasaki, Kazuya Kudoh, Tsunekazu Kita, Hitoshi Tsuda, Kenichi Furuya, Yoshihiro Kikuchi	産科婦人科
日産婦埼玉地方部会誌 36 : 5-21	子宮内膜症に関する最近の診断と治療	古谷健一	産科婦人科
日産婦埼玉地方部会誌36: 28-31	転移性S状結腸癌合併妊娠の1症例	長谷川ゆり、松田秀雄、高橋宏典、川上裕一、古谷健一	産科婦人科

小計 10

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本眼科学会雑誌	前眼部3D解析装置Pentacamにおける閉塞隅角緑内障の前眼部形状	岡 奈々	眼科
防衛医科大学校雑誌	網膜とミュラー細胞	西川真平	眼科
日本眼科学会雑誌	眼内レンズとその素材による水晶体上皮細胞の接着・伸展の比較	佐藤智人	眼科
日本眼科学会雑誌	網膜芽細胞腫Y79の老化形質発現と細胞周期制御	唐沢容子	眼科
日本眼科学会雑誌	網膜虚血障害における塩酸カルテオロール点眼液の網膜神経保護効果	水口慎也	眼科

小計 5

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
防衛医科大学校雑誌	レーザー切除が舌の疼痛に及ぼす影響	村川哲也	耳鼻咽喉科
音声言語医学	喉頭微細手術の未来を手術器具の面から考える	塩谷彰浩	耳鼻咽喉科
喉頭	咽喉頭異常感に対する問診表 Fスケールの有用性の検討	溝上大輔	耳鼻咽喉科
Gene Therapy	Adenoviral GDNF gene transfer enhances neurofunctional recovery after recurrent laryngeal nerve injury	塩谷彰浩	耳鼻咽喉科
福岡大学医学紀要	新しい耳鳴り治療Tinnitus Retraining Therapy (TRT)を試みて	溝上大輔	耳鼻咽喉科
喉頭	局所進行喉頭癌に対する喉頭亜全摘術CHEP —当科での22例の経験と拡大術式の可能性—	塩谷彰浩	耳鼻咽喉科
耳鼻と臨床	中咽頭への注水刺激による嚥下反射の惹起 —冷却炭酸水注水の嚥下訓練への応用の可能性—	唐帆健浩	耳鼻咽喉科

小計7

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Surgery 139(4):501-507, 2006.04	Individualized surgery for early gastric cancer guided by sentinel node biopsy	Ichikura Takashi, Chochi Kentaro, Sugasawa Hidekazu, Kosuda Shigeru ,et al.	放射線科
Cancer Res:(inpress) 2007.	A target-cell specific activatable fluorescence probe for in vivo molecular imaging of cancer based on a self-quenched avidin-rhodamine conjugate	Hama Yukihiro, Urano Y, Koyama Y et al.	放射線科
Magn Reson Med (inpress), 2007	MR Lymphangiography using Dendrimer-based Contrast Agents: A Compariosn at 1.5T and 3.0T	Hama Yukihiro, Bernardo M, Regino CAS, Koyama Y, et al.	放射線科
Radioisotopes 56(2): 65-76, 2007.02	Cost-Effectiveness Analysis of Antithyroid Drug Therapy ¹³¹ I Therapy and Subtotal Thyroidectomy for Graves' Disease	Fuzuki Yano, Sadahiro Watanabe, Katsumi Hayashi, Tamotsu Kita, Masayoshi Yamamoto , Shigeru Kosuda	放射線科
Jpn J Endourol ESWL 20(1):12-17, 2007.01	ラジオ波焼灼術を用いた小径腎癌に対する低侵襲治療	浅野友彦、早川正道、加地展美	放射線科

小計 5

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Lisa 13(1)	妊娠20週、胆石症:経腹的胎児心拍モニターを使用した硬膜外麻酔併用全身麻酔で応用	福田功	麻酔科
European Journal of Anaesthesiology 23	Isoflurane and sevoflurane during reperfusion prevent recovery from ischaemia in mitochondrial KATP channel blocker pretreated hearts	Masui Kenichi	麻酔科
麻酔 55(8)	プロポフォールを用いた全身麻酔-ベンタゾシンとフェンタニルの比較	増井健一	麻酔科
British Journal of Anaesthesia 96(5)	Entropy indices vs the bispectral index TM for estimating nociception during sevoflurane anaesthesia	Takamatsu Isao	麻酔科
Brain Research Bulletin 70	Muscarinic receptor subtypes modulate the release of [3H]-noradrenaline in rat spinal cord slices	Umeda Eiichiro	麻酔科

小計 5

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
防衛医学, 208-211	防災計画 (第3章: 災害救急医療、第3節: 防災計画、1: 防災基本計画、2: 地域防災計画、3: 防災計画について)	岡田芳明	救急部
防衛医学, 216	災害時の医療活動 (第3章: 災害救急医療、第5節: 災害時の医療活動、1: 探査と救助、2: 災害弱者、3: 現場救護所と救護班活動、4: Confined Space Medicine)	岡田芳明	救急部
防衛医学, 451-452	温熱環境 (第8章: 異常環境衛生、第1節: 温熱環境、1: 体温の調節機構、2: 熱中症、3: 熱疲労、4: 熱射病)	岡田芳明	救急部
防衛医学, 453-454	寒冷環境 (第8章: 異常環境衛生、第1節: 寒冷環境、1: 寒冷による局所障害、2: 偶発性低体温症)	岡田芳明	救急部
日本外傷学会雑誌 20 (4), 333-339	X線上骨傷不明瞭な頸髄損傷 (SCIWORA) に関する多施設後ろ向き調査	岡田芳明	救急部
日本外傷学会雑誌21 (1), 24-28	腰椎破裂骨折後に生じた後腹膜腔リンパ嚢腫	阪本敏久	救急部
日救急医関東誌 27, 164-165	市民公開講座の反響と成果	阪本敏久	救急部
J Trauma 61 (12), 1330-1335	Effect of induction rate for mild hypothermia on survival time during uncontrolled hemorrhagic shock in rats	高須 朗	救急部
日本臨床救急医学会雑誌 9(5), 399-403	代替フロン吸入により口および手指に凍傷を来した1例	金子直之	救急部
防衛医学, 93-104	腹部外傷 (第2章: 外傷・戦傷学、第5節: 部位別の評価・治療、8: 腹部外傷: (1) 総論 (2) 各論)	金子直之	救急部
日本救急医学会雑誌 17(2), 62-66	重症破傷風に対するマグネシウム大量持続投与	柳川洋一	救急部
日本救急医学会雑誌 17(4), 163	蜂刺傷後の出血や壊死病変の合併は横紋筋融解症等の多臓器障害発症が予測される (Letter to the Editor)	柳川洋一	救急部
日救急医関東誌 27, 24-25	上部食道異物による窒息例	柳川洋一	救急部
防衛医科大学校雑誌 32(1), 55-59	バルビツレート昏睡療法中止 48 時間後の尿薬物定性試験結果	柳川洋一	救急部
防衛医学, 288-290	挫創に伴う感染症 (第4章: 感染症学、熱帯医学、第6節: 各種傷病各論、1: 戦闘と感染症、(2) 挫創に伴う感染症)	柳川洋一	救急部

小計 15

合計 155

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 望月 英隆			
管理担当者氏名	庶務課長 森 純一郎 薬剤部長 菅野 秀明	医事課長 橋場 光洋 医療情報部長 野々山 恵章		
	保管場所	分類方法		
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、 手術記録、看護記録、検査所見記録、 エックス線写真、紹介状、退院した患 者に係る入院期間中の診療経過の要約	庶務課 医療情報部 薬剤部 手術部 看護部	カルテ等の病歴資料は医療情報部 で一括管理をしている。外来カルテ は診療科ごと、入院カルテは入院期 間ごとに作成され、電算機に登録管 理されており、保存期間は10年であ る。		
病院の管 理及び運 営に関する 諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	庶務課	文書管理規則等に基づき、各担当 課において、作成部署・文書分類番 号・保存期間等を記入し管理してい る。	
	高度の医療の提供の実績	医事課		
	高度の医療技術の開発及び 評価の実績	医事課		
	高度の医療の研修の実績	教務課		
	閲覧実績	庶務課		
	紹介患者に対する医療提供 の実績	医事課		
	入院患者数、外来患者数及 び調剤の数を明らかにする帳 簿	薬剤部		
	規 則 第 9 条 の 2 3 及 び 第 1 1 条 各 号 に 掲 げ る 体 制 確 保 の 状 況	専任の医療に係る安全 管理を行う者の配置状況		医療安全推進室
		専任の院内感染対策 を行う者の配置状況		庶務課
		医療に係る安全管理を 行う部門の設置状況		医療安全推進室
		当該病院内に患者から の安全管理に係る相談に 適切に応じる体制の確保 状況		医事課
		医療に係る安全管理の ための指針の整備状況		庶務課
		医療に係る安全管理の ための委員会の開催状 況		庶務課
医療に係る安全管理の ための職員研修の実施 状況		庶務課		
医療機関内における事 故報告書等の医療に係 る安全の確保を目的とし た改善のための方策の状 況	庶務課			

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 望月 英隆
閲覧担当者氏名	各診療科部長 庶務課長 医事課長 薬剤部長 教務課長
閲覧の求めに応じる場所	病院第3会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0 件
閲覧者別	医師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	71.2%	算定期間	平成18年 4月 1日～平成19年 3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数	11,273 人	
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	6,101 人	
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	5,200 人	
	D：初診の患者の数	25,583 人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの数の和をBとDの和で除した数に100を乗じて少数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (1名)・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1名)・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員：専任(1)名 兼任(11)名 ・ 活動の主な内容：(1) インシデント・アクシデント報告書の収集・分析・集計等を行い、内容の確認や再発防止に関する検討を実施する。 <li style="padding-left: 2em;">(2) 職員の医療安全に関する研修の企画立案を実施する。 <li style="padding-left: 2em;">(3) 安全管理マニュアルの作成や修正を実施する。 	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： 防衛医科大学校病院における安全管理のための体制を確保し、医療の安全性向上を図るとともに、医療事故及び医療紛争の発生を未然に防止する方策を審議することを目的とする。 	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： (1) 病院内における安全管理のための指針の整備等、医療事故を防止するために必要な方策及び医療事故が発生した場合における対応要領に関すること。 (2) 病院内における安全管理のための医療事故、インシデント等の報告制度の整備等に関すること。 (3) 安全管理の体制確保のために必要な職員の教育、研修制度の整備及び実施要領に関すること。 	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年3回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容：(1) 病院におけるリスクマネジメント <li style="padding-left: 2em;">(2) 医療を取巻く環境とリスクマネジメント <li style="padding-left: 2em;">(3) 当院のインシデント事例と各部署での対策 	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有)・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 患者参加型医療安全システムの実施 患者誤認防止のため、検査、注射、与薬の際、ラベルや袋の姓名を読み上げ、患者と一緒に確認する。 	